

オオキイロコガネの記録

足立義弘

出石町奥山の茗荷谷で、オオキイロコガネ *Pollaplonyx flavidus* を採集しているのを報告しておく。

1990年6月4日 1 ex. 兵庫県出石町奥山茗荷谷

午前10時ごろ、林道で死骸をひろったものであるが、触角と左前肢の爪が欠けてはいるものの、アリにたかられた様子もなくきれいな個体であった。さらに体も軟らかく、死んだ後それほど時間はたっていないように思われた。

参考文献

- 高橋寿郎 (1985) 兵庫県のコフキコガネ, IRATSUME 8・9:73-84.
小林裕和 (1985) 原色日本甲虫図鑑 (II), 保育社
佐藤邦夫 (1988) 温泉町でオオキイロコガネを採集, IRATSUME 12:82.

野生鹿の糞から採集した 食糞性コガネムシ

足立義弘

筆者は1990年6月4日と7月28日に、出石町奥山の茗荷谷で、野生鹿の糞より食糞性コガネムシを採集しているのを報告しておく。

1990年6月4日 出石町奥山茗荷谷

- センチコガネ *Geotrupes laevistriatus* 1 ex.
ゴホンダイコクコガネ *Copris acutidens* 4 exs.
クロマルエンマコガネ *Onthophagus ater* 4 exs.

マエカドコエンマコガネ *Caccobius jessoensis* 1 ex.
クロオビマゲソコガネ *Aphodius unifasciatus* 6 exs.
マルツヤマゲソコガネ *Aphodius troitzkyi* 3 exs.

1990年7月28日 出石町奥山茗荷谷

ゴホンダイコクコガネ *Copris acutidens* 1 ex.
ツノコガネ *Liatongus phanaeoides* 3 exs.
マエカドコエンマコガネ *Caccobius jessoensis* 20 exs.
マルツヤマゲソコガネ *Aphodius troitzkyi* 3 exs.

6月4日の採集は、雑木林内で見つけた約200mにわたる鹿の踏み跡、いわゆる獣道で行った。センチコガネとゴホンダイコクコガネは塊となった糞より、他はバラバラの糞の中より採集した。糞の中にいるときは、必ず糞に穴があいており、虫は、新しい糞にはよく見られ、古くなった糞ではまったく見られなかった。

7月28日は、林道沿いの杉林内で少し古くなった糞塊よりゴホンダイコクコガネを採集し、他の虫は6月4日と同じ雑木林で採集した。この雑木林では糞が新鮮だったためか、糞の中にはまだ虫はおらず、3頭のマエカドコエンマコガネを糞のそばで見つけた以外は、約30分間に次々に飛来した個体であった。

今回、2回の採集で7種を記録しているが、このうちの1種、マルツヤマゲソコガネは兵庫県では未記録であったと思われる（塚本，1989）。

参考文献

塚本圭一（1989）日本産食糞糞性コガネムシ類分布資料（5），放牧家畜などの処理昆虫についての基礎研究 14，SAIKAKU 8.